

市議会だより

四万十市 議会だより



2017. 2. 1 発行

～もくじ～

- 議 案 … 1 ページ
- 一般質問 … 2 ページ～
- トピックス…12ページ～



発行 四万十市議会（編集：広報広聴委員会）

〒787-8501 高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地 TEL 0880-34-5071 FAX 0880-34-1827

平成28年12月定例会

四万十市議会12月定例会は、12月5日に開会し、12月21日までの17日間の会期で開催されました。

今期の定例会には、執行部から「28年度補正予算17件」「条例の改正等7件」その他監査委員の選任などについて提出され、慎重に審議を行いました。

一般質問では、10名が「市長の政治姿勢」、「ウルトラマラソン」、「台風16号による災害」、「防災対策」、「農業振興など」について質問を行いました。

一般質問については、次ページから掲載しています。

【議案】 ※「四万十市」の文字は省略しています。

議案番号	件名	結果	議案番号	件名	結果
1	平成28年度 一般会計補正予算(第3号)	全会一致可決	14	平成28年度 国民健康保険会計事業勘定補正予算(第3号)	全会一致可決
2	平成28年度 国民健康保険会計事業勘定補正予算(第2号)	全会一致可決	15	平成28年度 国民健康保険会計診療施設勘定補正予算(第3号)	全会一致可決
3	平成28年度 下水道事業会計補正予算(第3号)	全会一致可決	16	平成28年度 奥屋内へき地出張診療所会計補正予算(第1号)	全会一致可決
4	平成28年度 鉄道経営助成基金会計補正予算(第2号)	全会一致可決	17	平成28年度 後期高齢者医療会計補正予算(第2号)	全会一致可決
5	平成28年度 介護保険会計保険事業勘定補正予算(第2号)	全会一致可決	18	平成28年度 下水道事業会計補正予算(第4号)	全会一致可決
6	平成28年度 簡易水道事業会計補正予算(第2号)	全会一致可決	19	平成28年度 と畜場会計補正予算(第2号)	全会一致可決
7	職員の退職手当に関する条例及び企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決	20	平成28年度 介護保険会計保険事業勘定補正予算(第3号)	全会一致可決
8	税条例等の一部を改正する条例	全会一致可決	21	平成28年度 簡易水道事業会計補正予算(第3号)	全会一致可決
9	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	全会一致可決	22	一般職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
10	国保診療所料金徴収条例の一部を改正する条例	全会一致可決	23	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
11	防災コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決	24	監査委員の選任	原案同意
12	工事請負契約について	全会一致可決	25	平成28年度 一般会計補正予算(第5号)	全会一致可決
13	平成28年度 一般会計補正予算(第4号)	全会一致可決	26	平成28年度 簡易水道事業会計補正予算(第4号)	全会一致可決

【平成28年6月定例会より継続の陳情】

産業建設常任委員会所管(平成27年12月受理陳情1号)
「開発行為により設置された地域下水道施設の移管について」⇒「不採択」となりました。

不採択とした理由等

移管により当該地区のほとんどの家庭で自己負担が増加すること、また、移管が困難であることについて、地区説明会において一定理解が得られたと判断したことから全会一致で不採択としました。

★第24号議案「監査委員の選任」については、議員の無記名による投票を行い、結果、同意となりました。

投票結果 賛成15 反対2

ここを質す!!

一般質問

質問順位	質問者	質問要旨	質問掲載ページ
1	宮本博行 (一問一答)	1 奨学金制度 2 ウルトラマラソン	3
2	谷田道子 (一問一答)	1 就学援助制度 2 障害者福祉サービス	4
3	川村一朗 (一問一答)	1 西土佐診療所 2 鳥獣害対策 3 中山間対策	5
4	山崎 司 (一問一答)	1 台風16号による被害 2 用地対策 3 有害鳥獣被害の防止 4 大川筋地区の診療所 5 ほ場整備	6
5	西尾祐佐 (一問一答)	1 農業振興	7
6	上岡 正 (一問一答)	1 市長の政治姿勢(限界集落についてなど) 2 人事行政 3 公共下水道事業 4 八束防災拠点基地整備事業 5 国民健康保険税	—
7	垣内孝文 (一問一答)	1 中心商店街の活性化 2 IT関連企業誘致 3 本市の防災・減災対策	8
8	大西友亮 (一問一答)	1 四万十川の保全 2 市長の政治姿勢(原発についてなど)	9
9	安岡 明 (一括)	1 総合戦略推進 2 観光産業の推進 3 防災・減災対策の推進 4 子どもや高齢者等の安全確保	10
10	宮本幸輝 (一括)	1 入札の現状と課題 2 旅費規程 3 農業政策と課題 4 婚活サポーター制度	11

※一般質問は、12月12日(月)、12月13日(火)の2日間で行われました!!
※上岡議員の質問内容は、今回記載なし。

宮本 博行議員

市の奨学金制度を中村地区へも拡大せよ ウルトラマラソンのランクアップを



中村地区へも奨学金制度を

質問

奨学金制度は「日本育英会」から「日本学生支援機構」になり、無利子の貸し付けが少なくなり、有利子がほとんどになつている。また、最近は各世帯の収入が10年間に百万円も減つていて、その上に授業料はどんどん上がつている。有利子がほとんどの奨学金制度は今や金融事業化・貧困ビジネス化していく、社会問題化している。就職先がなく返済ができなくて延滞金が発生して返却困難な人がいる。市として10年間の「所得証明」を出せないか

答弁 求人倍率が改善しているものの、まだまだ厳しい社会情勢だと認識している。所得証明はシステム内に平成18年度分からのデータが残っているため、申請があれば10年分の証明はできる。

答弁 求人倍率が改善しているものの、まだまだ厳しい社会情勢だと認識している。

質問 本市独自の奨学金制度は西土佐地区限定である。この制度を活用している家庭は大変助かつていると思う。中村地区にも拡大してはどうか。

答弁 基金の原資には、例えばふるさと納税の一部を活用するなどで準備したらどうか

答弁 中村地区まで奨学金制度を拡大すれば、単年で最大7000万円が必要になる。必要性は認めるが、現在国の方で給付型奨学金の動きもあり、慎重に検討させてもらいたい。

ウルトラマラソンに称号制度をつくれ

ソン大会が行われている。その中で「四十川ウルトラマラソン」を際立たせる為に、サロマ湖ウルトラマラソンにならつて称号制度を設けたらどうか。

質問 称号制度は取り入れる方向で検討する。

答弁 大会の運営に欠かせないボランティアは世代が代わり、担当課は苦労をしている。一部は市外の方のボランティアを受け入れているが、県外からも募集中ならどうか。

答弁 抽選漏れした方、四万十川に来てみたい方等が来てくれば、大会日に宿泊して翌日は観光していただき等の相乗効果も期待できる

質問 大会運営を第1回から同じ会社に委託しているが、回数も重ねてノウハウは蓄積されているので、出来れば地元に運営をさせることは出来ないか。それで地元に金が落ち、又雇用も生まれる。出来なくても入札にする等して、経費削減に努めよ

答弁 残念ながら市内には受ける団体がない。又、市外にもアールビーズ以外は今のところない。



四十川ウルトラマラソン

谷田道子議員



「入学準備金」の3月支給実施を求める。 65歳を境に介護保険に移行する 障害福祉サービスの現状・認識を問う。

答弁 入学時期には多額の費用を要することから、入学前支給が全国で広まっていることは承知している。我々としては、事務処理の問題とか検討しなければならないので勉強させて頂く。

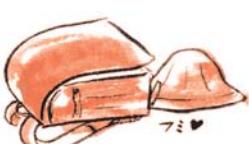


文科省から必要な時期に速やかに支給するよう配慮する通知がでていて、全国では3月に入学準備金を支給する取り組みが進んでいる。

本市では7月に入学準備金を支給しているがそれでは間に合わない。3月支給はできないか

質問 子どもの教育を保障し、貧困の連鎖を断ち切るためにも就学援助制度は大きな役割を果たしている。

質問 7月に支給していろいろ入学準備金を3月に支給しても新たな財政負担はない。制度のしくみを変えただけで可能、やる気次第だ。市長の見解は



答弁 今 の 制 度 で は 前 年 度 の 所 得 を 基 準 に 判 断 す る こ と は 小 学 も 中 学 も 同 じ だ。

6 年 生 で 就 学 援 助 を 受 け て い る 場 合 は 、 そ う い う 制 度 の 仕 組 み ・ 組 み 方 を す れ ば 可 能 だ が 、 制 度 の し く み を 基 本 的 に 変 え て い く こ と に な る。 同 じ 入 学 な の で 小 中 一 律 的 ・ 一 体 的 に 考 え て い き た い。

質問 就学援助を受けていたりする6年生が中学に上がるときに3月に支給することは可能、すぐ出来るのではないか

答弁 介護保険に移行することにより、多くの場合負担増となる。国は介護保険サービスでは十分なサービスが受けられない時は、障害福祉

質問 障害を持つ人たちは、65歳を境に障害福祉制度から介護保険に移行する。
障害福祉サービスは利用料の負担がないが、介護保険では一割以上の自己負担が発生する。また介護保険と障害福祉ではサービス内容が違う。例えば介護保険では通院のみだが、障害福祉では通院以外の外出への付き添いも可能だ。
65歳以上の人への障害福祉サービスの現状について問う

程度負担軽減がはかられると考えている。

65歳を境に激変すると
いうこともあるので、今後
市長会等で声を上げてい
きたい。



質問 65歳になつたとたんサービスの質が変わり自己負担が発生する。制度の改善を国に求めるべきではないか。

サービスの支給決定などの運用を求めている。本市でも一律に判断せず個々の実情に応じた判断を行つてゐる。

早期に医師の招聘を ジビエを観光資源に ケーブルテレビの活用を



質問 医師の招聘について
再三質問を行つてきたが、
現在においても医師確保
の兆しがない。医師確保は
深刻でかつ緊急性があり、
また長期的な課題でもある。
西土佐診療所の場合2
名体制が必要だ。対策室の
設置や医師ネットワーク
の積極的活用をすべきで
はないか

答弁 西土佐診療所の場合
入院施設を有しております、24
時間拘束される当直や宿
直が多い点や空港から離
れていることで困難さが
多い。今後医師のネットワ
ークで紹介して頂くこと
と、専門医療制度が実施さ
れると益々困難になるの
で市民病院に研修医を受
け入れ、診療所に派遣する
体制をとりたい。2名体制
対策室を作つた場合、職員
が行うことになるし、異動
もある。事務局や県との連
携を図りながら今のところ
現体制で行う。

医師招聘への積極的 体制作りを



質問 年間4000頭のシカ
を捕獲しても増え続けて
いると言われている。観光
の目玉となる商品化に向
けて、狩猟者の高齢化にも
対応して、新鮮なジビエを
確保するために国で開発
に取り組んでいるジビエ
カー（移動式解体処理車）
の導入を図れ

質問 四万十市は全国でも
トップクラスのシカ捕獲
自治体だ。ジビエの产地と
して観光、産業に生かす体
制を整えるべきだ。以前に
も商品開発に取り組まれ
た経過はあるが、ハードル
が高く成功したとは言え
ない状況だ。

ジビエカーの導入を

答弁

ジビエを食品として
商品化できれば有効な觀
光資源となる。市内の加工
グループ等が商品化する
ようならば産業振興補助
金があるので支援できる。

ジビエカーは長野県他
で実証実験中で、今後改良
されると可能性がある。現在
の補助事業には至って
いないが、実用後に民間等
で導入の動きがある場合、
活用できる補助がないか
検討する。

中山間地域の災害等に ケーブルテレビの活用を

質問 中山間地においては
ラジオが入らない、携帯の
電波が届かないところも
ある。不利な地域故に設置
されたケーブルテレビを
活用し、市が行う主要事業
や災害時の状況等を視聴
可能な状態にする考えは

質問 事業化するためには、
光ケーブルの敷設地域が
限定されていて利用する
事ができる対象世帯が少
なく、これに比べて、大き
な経費を要するという課
題がある。現在の環境でも
活用できる手法があるの
で、これらを使って、映像
情報の発信を行つていき
たい。



ジビエ料理

市議会だより

山崎
司
議員



*台風16号被害 *大川筋診療所 *ほ場整備予算 *国土調査 *獣害防止柵



台風16号による岩田団地の浸水状況

質問 大川筋診療所の存続を

大川筋診療所を廃止の説明があつたが大川筋地区民の強い存続要望を受け現在富山診療所を運営しているT病院へ市長も私もお願いに行き院長先生からは地域医療への熱

大川筋診療所の存続を

市としても再度の災害防止をお願いし流域全体の安全度向上に向け要望を続けて参ります。

また、関係区長様から要望のありました河川の樹木伐採については、国交省・県、共に計画的に実施して行くとの回答を得ています。

市は県に対し原因調査と再発防止対策を強く要求すべきだ

答弁 県・市、共に被害調査をし、現在、県において洪水の原因調査を進めています。

岩田川右岸堤防が越流し岩田地区で多くの住宅が浸水した。市は県に対し原因調査と再発防止対策を強く要求すべきだ

台風16号被害と防止対策

国土調査の取組み強化

質問 昨年の6月議会で用地係の設置をお願いし、今年4月に「用地・国土調査係」

を新設して頂いたが土地の境界を知らない人が増えており国土調査は急務だ。国土調査課を設置し体制強化と大幅な事業推進を図るべきだ

答弁 大川筋診療所の経営は全て医療機関が行っていますが、現在、T病院から、地域医療のために協力したいとの返事を頂いており来年4月からの診療を目指して新旧両方の病院と連携を取りながら進めて参ります。

質問 大川筋診療所廃止の説明があつたが大川筋地区民の強い存続要望を受け現在富山診療所を運営しているT病院へ市長も私もお願いに行き院長先生からは地域医療への熱

答弁 協議会への補正予算獲得状況と各地区への予算配分計画はどうなつていいか

質問 有害獣被害防止柵予算の国の当初予算割当が要望額の20%であつた事から、勝間川区長様・有害鳥獣被害対策協議会から強い要望があり6月議会で補正予算の獲得に向けて積極的に県を通じて國への要望を上げるようにお願いをした。

質問 ほ場整備の補正予算

質問 ほ場整備の大型補正予算獲得の報告があつたが、我々市民クラブも山本大臣への要望を行つてきた

答弁 県においては担当理事と担当課長が国に対し要望を上げ、市は市長が機会あるごとに強く要望を行つて来た経緯があります。大川筋地区の予算配分は、現在施工中であります大川筋地区を中心順次進めて参ります。

答いをお聞きした。
これからの診療所存続への市の取組み方は

答弁 県においては担当理事と担当課長が国に対し要望を上げ、市は市長が機会あるごとに強く要望を行つて来た経緯があります。大川筋地区の予算配分は、現在施工中であります大川筋地区を中心順次進めて参ります。

西尾 祐佐議員

農業振興について



農業振興について

質問 農業振興についてどのように考えているのか

答弁 米のブランド化やぶしゅかんの振興などを進め、儲ける農業をつくつていくことが必要。適地適作、戦略品目を選別し、産業振興計画に沿って農業の維持発展、後継者対策など進めていく。

質問 高齢化が進み農業者が年々減っているが、新規就農者の確保・育成についての今後の取り組みについて問う

答弁 担当課と協議、調整のうえで設定している。今後フォローアップを進める中で追加・修正を加えていく。

質問 産業振興計画内の数値目標について。農業の総生産額や集落営農、新規就農者数など目標が低くないか

質問 集落営農について、組織数も重要ではあると思うが高齢化が進んでいるのでその活動内容がかなり重要なと考える。今後の取り組みを問う

答弁 若い担い手の確保が重要であり、有望品目の選定や活動を発展させていくことが大事。組織間の情報共有を図り、地域を超えて連携した組織の統合や、林業等との複合経営なども視野に入れ研究していく。

※自分や家族が食べる分の食料は小さな自給農でまかない、残りの時間は「X」、つまり自分のやりたいこと(ミッション)に費やすという生き方

答弁 新規就農者の確保・育成などに取り組む。また農協や県、研修施設等とワークンググループを設置し問題・課題を掘り起こし、新規就農者の確保・育成に対する作業を進めていく。

質問 次世代型ハウスは運用の受け皿、生産額の維持・拡大、産業間の連携などにも有効な手段ではないかと思うがどのように考えているのか

答弁 問題・課題は多くあるが、今後本市の農業発展、収益の向上には必要な取り組みであると認識している。施設園芸の大規模集約化については調査研究を続け、事業導入の可能性を探っていく。



次世代型ハウス



雨よけ簡易ハウス

質問 農業公社の取り組みについても一般的の農家には補助対象となるない。

質問 現在の実績より、この簡易ハウスはよい取り組みだと思う。どんどん広めてはどうか

答弁 来年度西土佐の農業公社の研修生がこの簡易ハウスを取り入れて新規就農予定である。その内容や数値実績を見て、今後の集落営農や新規就農者等への活用を検討していきたい。

質問 雨よけ簡易ハウスに對しての補助事業はないか

市議会だより

垣内 孝文議員



旧土豫銀行跡地の利活用とIT関連企業誘致の現状について問う

答弁 今年度策定する都市マスター・プランの中で、人々を呼び込む賑わいのある中心市街地の再興のため、天神橋商店街の旧土豫銀行跡地の有効利用や空き店舗対策等を踏まえながら

質問 第2期の活性化基本計画の策定の予定は

答弁 組織 자체は存続しているが、現状休止状態になっている。

質問 本市中心市街地活性化協議会の現状の活動状況は

答弁 高齢化や担い手不足に陥り、活動が困難になつてゐる商店街もある。市街地全体での底上げが課題である。

質問 空き店舗やチャレンジショップの補助金等を活用し、新規創業や新たな手づくりに繋がつてゐる商店街によつては、

質問 中心市街地商店街の現状について問う

ら考えていけたらと考えている。

質問 旧土豫銀行跡地の利活用の検討と取組状況について

答弁 本年度は外部関係団体及び府内での検討会を併せ計9回開催した。旧土豫銀行跡地を賑わい創出の場とするには、商業機能とコミュニケーション機能を併せ持つた複合施設として整備していく方向で一定の意見集約を図ることができた。議員より提案して頂いたように、商業機能を含む公共的な広場やトイレ等については民間が整備すべきものである事、又コミュニケーション機能を含む公共的な広場やトイ

レ等について市が整備すべきものである事の方針も固まつてきている。来年以降の事業の前進にむけて取り組むことができたと思つてゐる。

質問 本市産業振興計画の中、商工業分野の戦略の柱である企業誘致のアクションプランとして情報通信関連産業の誘致促進を掲げているが、現状は

答弁 来年度早々に当市におけるサテライトオフィスで雇用拡大の可能性のある企業を訪問したい。

質問 IT関連企業（※）の誘致が商店街の活性化に繋がると考えるが、早急に取り組むべき事案ではないか



旧土豫銀行跡地



津波の日 高校生サミット

質問 高校生による世界津波サミットが開催されたが隣接の本市市長としてどのような感想をお持ちか

答弁 「世界津波の日高校生サミット」の総会とパートナーに参加した。多くのボランティアの協力により運営され、日本一防災意識の高い黒潮町の防災に対する熱い思いを実感した。世界各国の高校生の発表から、もつとも重要なのは市民の「防災意識を高める教育が大切」「防災は市民みんなの仕事である」と学んだ。本市の皆さんにも防災意識を日頃より持ち、家庭や職場、地域、学校でできることから行動に移して頂きたい。スピード感をもつて防災対策を進めていく。

※ IT関連企業の定義としては「Information Technology」の略、コンピュータソフトウェア開発ならびにシステム構築など、情報処理関係の企業をメインとします

四万十川・資源回復の手立てを問う。 電力の地産地消の考えは。



大西 友亮議員

質問

現在四万十川の資源が枯渇している状況にある。その影響により川で生計をたてている漁師の方やまた四万十川の食材を出している飲食店など多くの方がこの問題には頭を悩ましている。四万十川の資源の回復をすることは多くの方の願いでもある。

公共下水処理場の塩素が鮎の生息に影響が出ている可能性があるのではないか。名古屋大学の研究で残留塩素が鮎の生息に少なからず影響を与えている可能性が示された。四万十川の資源枯渇の原因は、色々な理由がある。今回の塩素についてもその可能性の一つと思うが、市はどうの様に対策をしていくか

答弁 四万十川の漁獲量の減少要因は、海水温の上昇や冷水病等が考えられる。都市河川では、鮎の生息に少なからず影響を与えている事が示唆されている。

四万十市としては、今後の河川の調査、研究を参考にしながら注視していく。たい。

四万十市としては、今後他の河川の調査、研究を参考にしながら注視していく。

は、業務に携わる職員が限定されるが、大きな課になると多くの職員が業務に携わる事になる為効率的に業務にあたれる。

今後も国、県とも連携を取り組んでいく。

新電力の考えは

質問 鹿児島・新潟両県で

脱原発の知事が誕生した事は脱原発に対して大きな一步ではないかと思っている。

この事に対する市長はどうに考へるか。

電力小売り全面自由化により、自治体が電力会社等を作る動きが広がっている。四万十市も新電力会社等を立ち上げ、電力の地産地消を考えてみてはどうか

四万十川の保全については、川の専門家や漁協などと連携をとりながら保全につとめ、国や県などにも要請をして、日本最後の清流を守る事に市としても本気の取り組みを求める

答弁 四万十川対策課の復活については、旧中村市において8年間、清流保全係と水産振興係の2係の7人体制でおこなつてきた。しかし、小規模な課で



答弁 2人の知事が誕生した背景としては、両県において原発に不安をもつた住民が多い事を改めて認識させられた選挙であつたと思つてゐる。

新電力設立による電力の地産地消は、用地、費用面で慎重に協議する必要がある。

安岡明議員



安心して済み続ける 社会の構築を！

質問 観光資源の掘り起こしを訴えてきたが開催が迫る「幕末維新博」の推進状況を聞く



また、独身男女の交流を促進する「出会いのきっかけ応援事業」を行つてゐる。イベントの開催は民間団体に委託し、お見合い形式に限らず趣味や教養等のイベント、サークル活動等の魅力的な取組を行つていく。

答弁 不妊治療には平成22年度より取組んできた。今年度から助成上限額を5万円へ、対象も第2子以降まで拡大し支援強化に取組んでいます。

質問 人口減少問題解決へ
向け若い世代へのサポート
トプランが組み込まれて
いるが出生率アップの具
体策は

総合戦略の推進

答弁 防災の日に併せ下田八束地区を中心に津波浸水区域内で実施。今年は下田中学校区の各小学校も訓練に参加し昨年より2

防災・減災対策の推進



答弁 平成29年3月4日より県下一斉に開催される本市は市郷土資料館が指定されたが耐震化及び館内展示物リニューアルのため市立中央公民館で特別展を開催する。展示は一條さんに始まる中世から幕末・明治維新にかけた躍した「樋口真吉」「遠近頬鳴」「安岡亮介」等郷土に關係する人物を、また、明治期の幸徳秋水や佐竹音次郎も紹介したい。この企画展を契機に歴史資料の保存、収集、利活用を積極的に推進していく。



災害に強い四万十市への講演会の状況

児童虐待・いじめ防止

質問 児童相談所への相談件数が年々増え続けているが本市の取組は

答弁 児童虐待へは、平成19年3月に「四万十市要保護児童対策協議会」を組織し児童虐待の早期発見や適切な保護や支援を図る等の取組を行つてきた。平成27年度に見守り等の支援を行う要保護児童は72名で、虐待が懸念されるものは33件、現在児童虐待と判断され市内の児童養護施設に措置入所の児童は10名である。子育て支援の策として「四万十市子育て支援短期利用事業」を行い児童に対する保護者の負担軽減も図つている。

A simple line drawing of a rabbit, facing right, with its ears perked up.

児童虐待・いじめ防止

質問 児童相談所への相談件数が年々増え続けているが本市の取組は

入札の現状と課題、農業政策と課題について



入札の現状と企業の影響について

質問

最近の入札結果を見ると不落、不調が32%もある。最低制限価格へ集中するとくじ引きとなる。28年度末の状況はどう見ていいか。又、運試しの様な入札では受注できない業者も多い。企業への影響は

答弁

平成27年度の建設関連工事の同額入札でのくじ引きは25件。28年度も同じ程度になると想定する。公正かつ自由な競争の促進を確保した上で入札制度の検討を行いたい。中小企業においては非常に厳しい状況であるものと認識している

大災害時に関係機関との協力、連携体制の構築に影響はないのか

質問

地域によっては中小零細企業を含め急激に減っている。救助体制がどちらの

答弁 重機の保有が無い業者もあり、リースでの運用もある。保有台数について

は把握できているが、各地区に必要台数が十分かは断言できず、いざ大災害が起きた場合の対応については不安もある。

企業誘致より現状の企業を守り雇用確保する考えはないか

質問

企業誘致より現状の企業を守り充実させることにより安定的な雇用の継続が重要と思うが考えは

答弁

新たな雇用の場を創出する為に企業誘致も促進したい。継続的な雇用の確保のためにも関係機関と連携を図っていく。

旅費規程について

質問

実費支給というが実費を見るべきではないか

答弁 実費主義が基本であるが、宿泊費は定額で支給している。時期により宿泊先を確保できない事もある。増額の場合、慎重な手続きが必要。条例により市長の判断によるが前例はない。即座に見直しする状況にはないが、県下の他団体の状況を踏まえ人事担当者会の事務協議の場で検討してみたい。

農業基盤整備に災害実態は生かされるのか

質問

利岡地区の基盤整備について岩田川の水位が上昇する度に圃場が冠水している実態は岩田川西地区への取水堰の高さに問題はないか。頭首工の構造物の土砂吐け等変更する考えはないか

答弁

利水者の岩田地区との協議も必要であるが地元の要望を聞き進める。

農業生産品目と地権者の農業参入は

質問 農業生産品目と地権者の農業参入はどう考えているか

答弁 基本的には米作を考えている。裏作としてはブロッコリーなどを計画。地権者農業参入は64戸中15戸が営農で25%。集落営農を考えている。



◎「住民と議会との懇談会」アンケート集計結果

H28年11月に開催した「住民と議会との懇談会」でお願いした「議会活動についてのアンケート」の集計結果についてお知らせします。ご協力いただいた市民の皆様、どうもありがとうございました。

【開催場所別 アンケート回答状況（125人）】

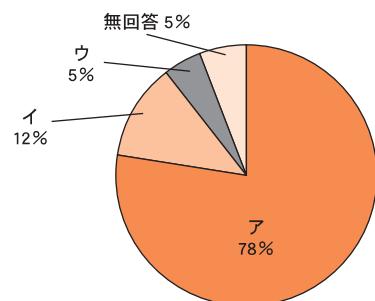
回答	人数	回答	人数
1 JA高知はた西部	5人	9 西土佐総合支所	8人
2 JA高知はた東部	12人	10 西富山活性化センター	5人
3 JA高知はた北部	5人	11 大宮生活改善センター	6人
4 かわらっこ	12人	12 中央公民館	8人
5 下流交流センター	8人	13 南津地区サテライト	6人
6 間崎多目的集会所	14人	14 不明	1人
7 具同田黒集会所	10人	15 富山地区集会所	6人
8 古津賀ふれいあい会館	9人	16 有岡老人憩の家	10人
総計		125人	

【懇談会アンケート集計結果】

Q1 懇談会は、26年度から地区又は地域を単位として、市内全域をカバーできる15箇所での開催としました。感想をお聞かせください。

回答	人数	%
ア 今のやり方で良い	97人	78%
イ もっと開催場所を増やす	15人	12%
ウ その他	6人	5%
無回答	7人	5%
総計	125人	

約8割の方が「今のやり方で良い」との回答でした。



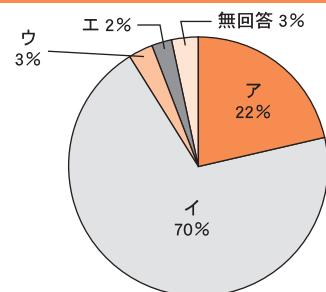
Q2 議会では、広報広聴機能の充実の一環として、「議会インターネット中継」、「フェイスブック、LINEによる情報発信」に取り組んでいますが、お年寄りの方やネット環境の整っていない方のため、対応を検討しています。

今年度については、「フェイスブックなどの関連記事」と「議会活動」をメインでお知らせする「議会だより特別号」を試験的に発行しています。(年間2~4回、A3サイズ両面刷り)

また集会施設などで議会中継が見られるように「インターネットの環境整備」も検討しているが、それについて、ご意見をお聞かせください。

①議会だより特別号

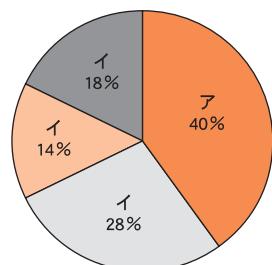
回答	人数	%
ア 発行について知らなかった	27人	22%
イ 来年度からも年2~4回程度発行した方が良い	87人	70%
ウ 発行しなくても良い	4人	3%
エ その他	3人	2%
無回答	4人	3%
総計	125人	



7割の方が発行した方が良いとのことでした。対して発行しなくても良い方が3%と低く、特別号の発行については、概ね賛成であるとの結果でした。

②インターネットの環境整備

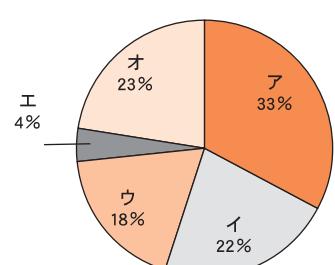
回答	人数	%
ア 集会施設で議会中継を見られるようにしてほしい	50人	40%
イ その必要はない	35人	28%
ウ その他	18人	14%
無回答	22人	18%
総計	125人	



7割の方が発行した方が良いとのことでした。対して発行しなくても良い方が3%と低く、特別号の発行については、概ね賛成であるとの結果でした。

Q3 議会では、広報広聴機能の充実を目的に「双方向での通信」が可能な「議会専用ホームページ（ディスカスウェブ）」の導入を検討しております。ご意見をお聞かせください。

回答	人数	%
ア 導入に賛成	41人	33%
イ 経費次第では、導入に賛成	28人	22%
ウ 導入する必要がない	23人	18%
エ その他	5人	4%
無回答	28人	23%
総計	125人	



導入に賛成、経費次第では賛成の方を併せ55%でした。今後も、インターネットのみでなく紙媒体での対応も含め、検討してまいります。

◎懇談会アンケートにあった主なご意見、感想など

- 西土佐総合支所：住民の意見を聞く姿勢は評価します。今後とも、継続し、参加者が増える方策を望みます。
- 具同田黒集会所：住民の声を吸い上げるのに大変いいことだと思います。住民からもっと多く、激しい意見が出てこないのがさみしい感じがします。議員さんは、これらの「生の声」を聴き流すことなく、何らかの行動で答えてください。
- 古津賀ふれいあい会館：このような懇談会を開いてもらっています。一市民として四万十市の発展を願っています。市民の声を汲みあげようとする議会の取り組みは今後とも続けてください。
- 古津賀ふれいあい会館：今回もそうですが、議会懇談会があることの徹底が出来ない、知らない方が多い。関心が薄い。もっと参加者を多くすることに今後どうするか。

◎「教育民生常任委員会」県外視察！！

教育民生常任委員会では、1月16日（月）、17日（火）に県外視察にいって参りました。

視察先等

H29年1月16日（月）15時～ 兵庫県小野市
調査項目：病院経営について



H29年1月17日（火）13時～ 鳥取県鳥取市
調査項目：教育現場等について



2017年も早1ヶ月経ちました。

まだまだ寒い季節が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

この議会だよりが皆さんのお手元に届く頃には結果が出ているかと思いますが、第89回選抜高校野球大会21世紀枠、中村高校どうなつたでしょうか？

最近は（今は一月中旬です）その話で持ちきりですが、あまり騒いでいけないとの事で、ひそひそと盛り上がっています。

40年前の甲子園ではみんなが優勝を信じていて、天神橋アーケードの『祝！準優勝』の『準』の文字が小さく付け加えられていた記憶がかすかにあります。

チャンスが与えられたなら、全力で頑張って、これらの子供たちに夢を与えて頂きたい、われわれ大人も、できる限りのサポートをしていきたいと思います。

編集後記

委 副 委 員 員 長
〃〃〃〃〃 員 長
西垣 安川 上宮 今宮
尾内 岡村 岡本 城崎
祐孝 一礼 博照
佐文 明朗 三行 喜努

広報広聴委員会

発行 四万十市議会（編集：広報広聴委員会）

〒787-8501 高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地 TEL 0880-34-5071 FAX 0880-34-1827
お問い合わせ、ご意見等については「四万十市議会」まで

次回定例会は3月3日からの予定です。傍聴にお越し下さい。

（西土佐総合支所では1階市民室で視聴いただけます）

※議会会議録は市ホームページ（<http://www.city.shimanto.lg.jp>）で閲覧できます。

※平成28年12月定例会会議録の閲覧開始及びホームページへの掲載は2月末の予定です。

[Ustreamによる議会ライブ中継は…]

URL:<https://www.youtube.com/channel/UCuzoCoFLaedC06OQWPBRr5Q>

[You Tubeによる録画映像配信は…]

URL:<https://www.youtube.com/channel/UCuzoCoFLaedC06OQWPBRr5Q>

[市議会のフェイスブックは…]

URL:<https://www.facebook.com/Shimantoshigikai>

[市議会のホームページは…]

URL:<http://www.city.shimanto.lg.jp/gyosei/sigikai/sigikai.html>

[市議会のLINEは…]

表紙のQRコードを読み込むか、LINEの友達検索画面からID検索で追加！⇒市議会ID『@kco2522u』